

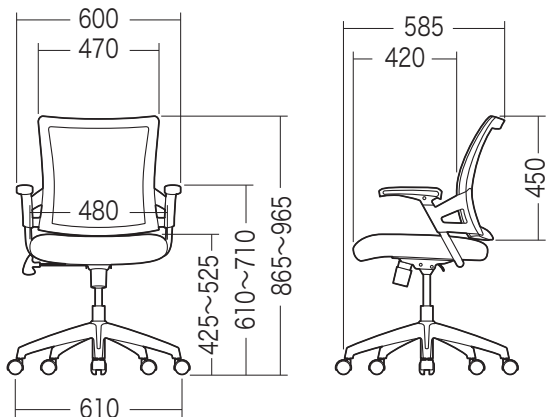
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このOAチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

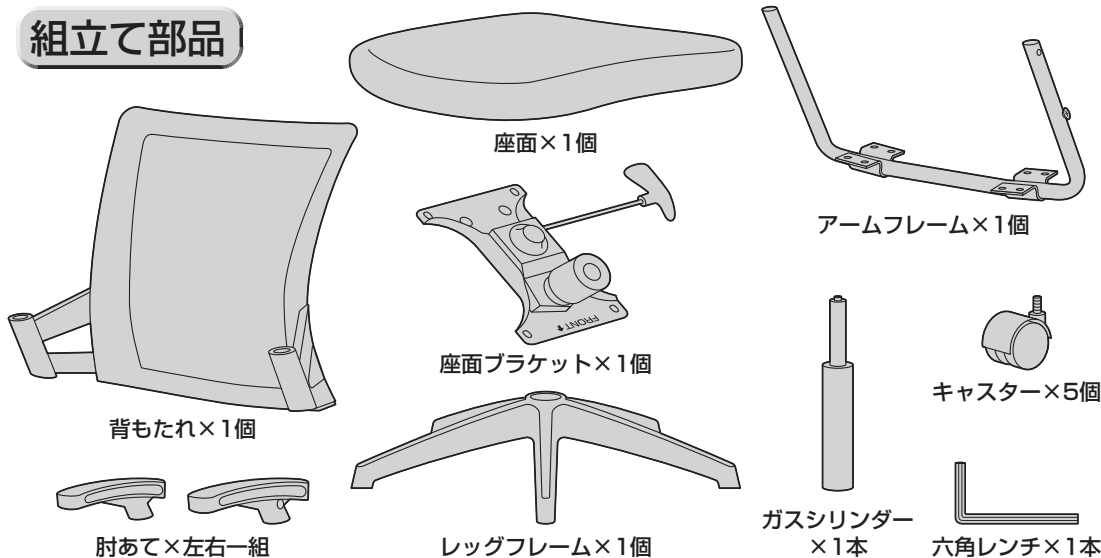
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

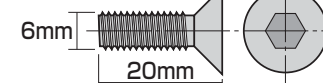
完成図



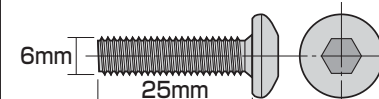
組立て部品



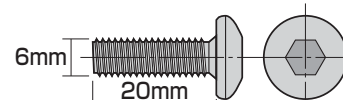
使用ボルト



ボルトA × 2本 (M6 × 20)

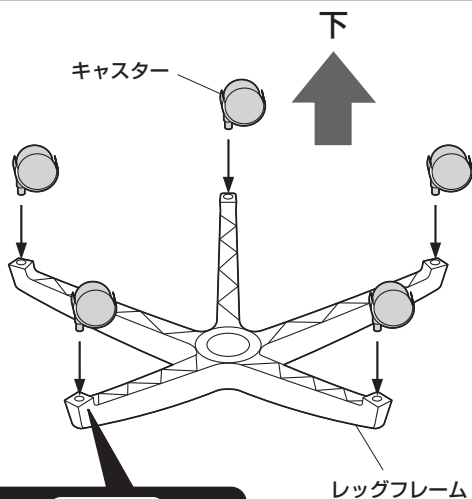


ボルトB × 8本 (M6 × 25)



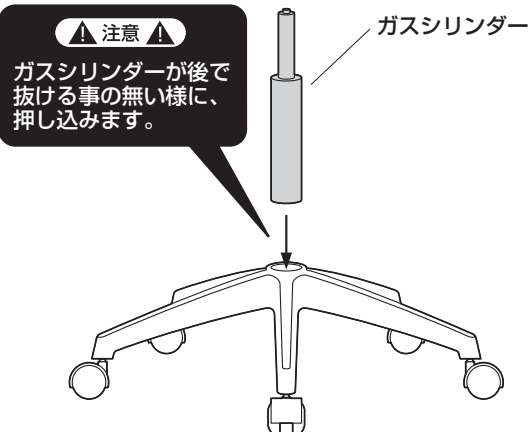
ボルトC × 4本 (M6 × 20)

1 レッグフレームをひっくり返して
キャスターを取付けます。



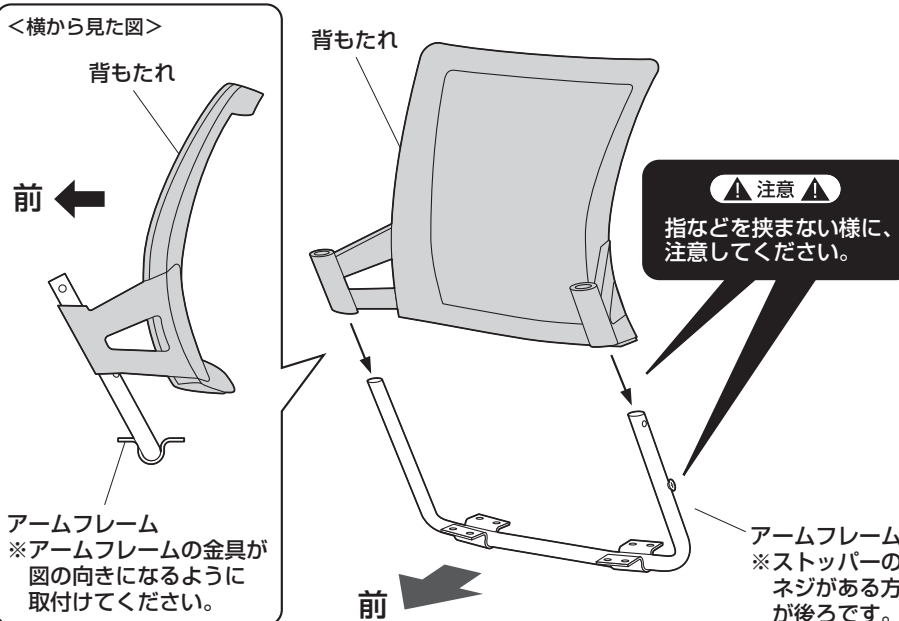
▲注意▲
それぞれのキャスターは全て
圧入です（手ではめこむ）。
奥まできちんと差し込んでく
ださい。

2 ガスシリンダーをレッグフレームに
取付けます。



▲注意▲
ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
押し込みます。

3 背もたれをアームフレームに取付けます。



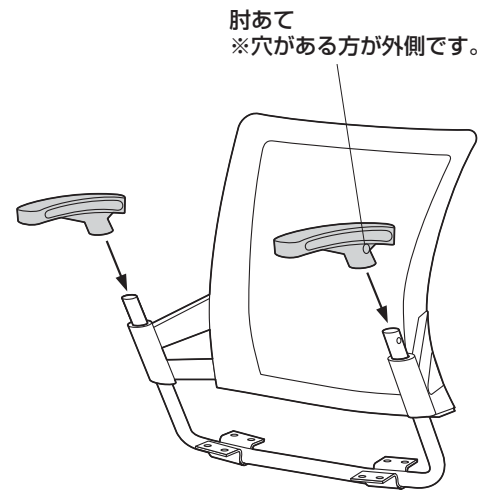
▲注意▲
指などを挟まない様に、
注意してください。

アームフレーム
※アームフレームの金具が
図の向きになるように
取付けてください。

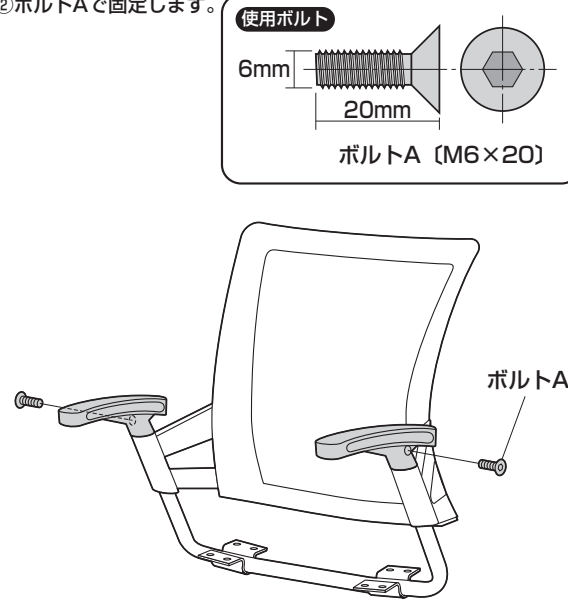
アームフレーム
※ストッパーの
ネジがある方
が後ろです。

4 肘あてをアームフレームに取り付けます。

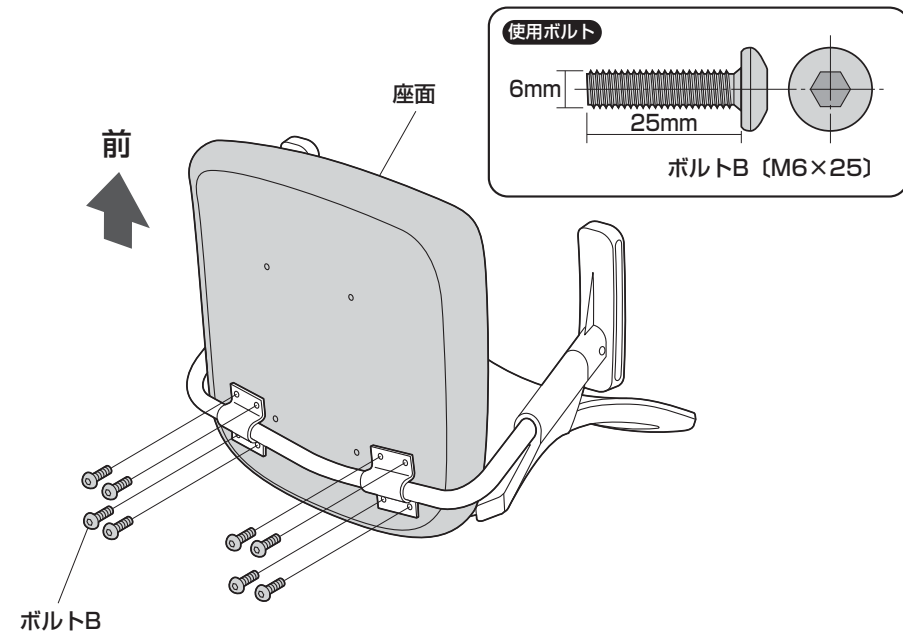
①肘あてを取付けます。



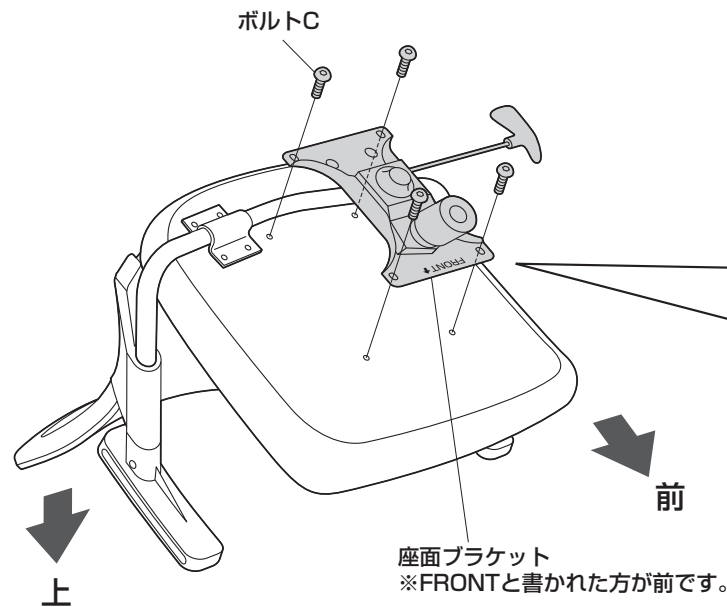
②ボルトAで固定します。



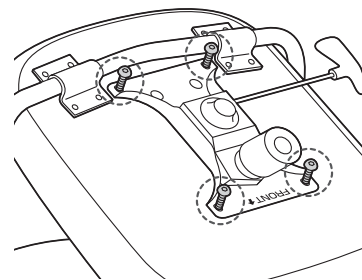
5 アームフレームに座面を取付けます。



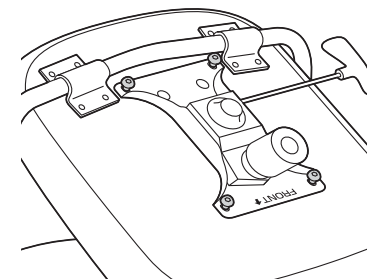
6 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。



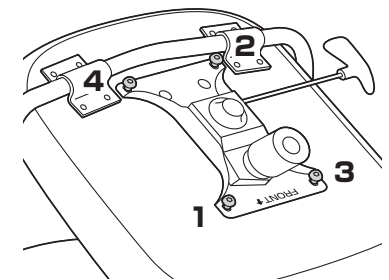
①4本のボルトをゆるく付けます。



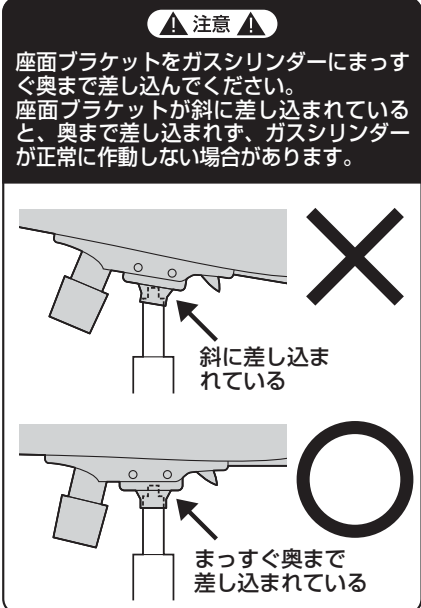
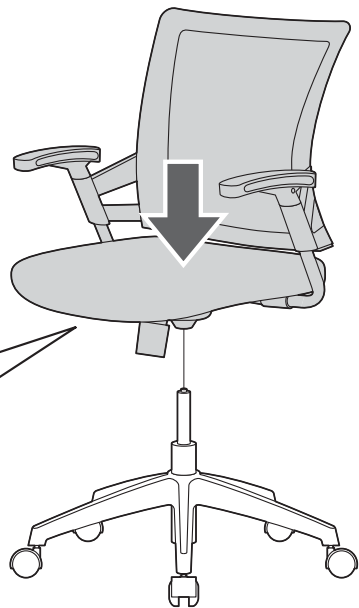
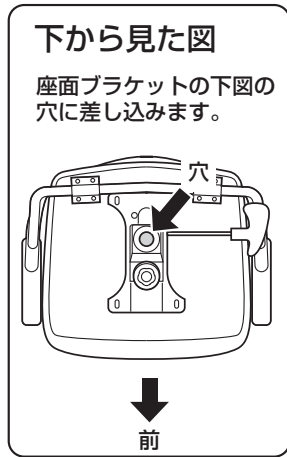
②すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。



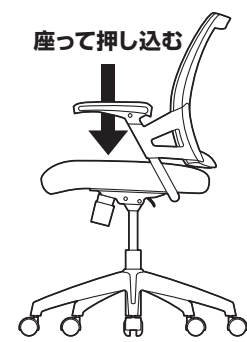
③最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締め付けます。



7 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。



最後に ※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

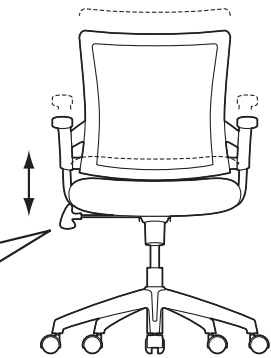
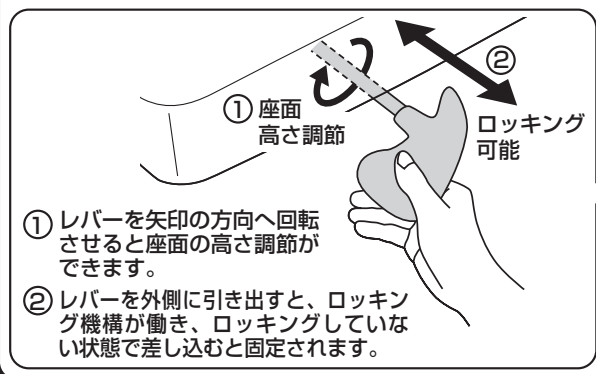


※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

各部の調節方法

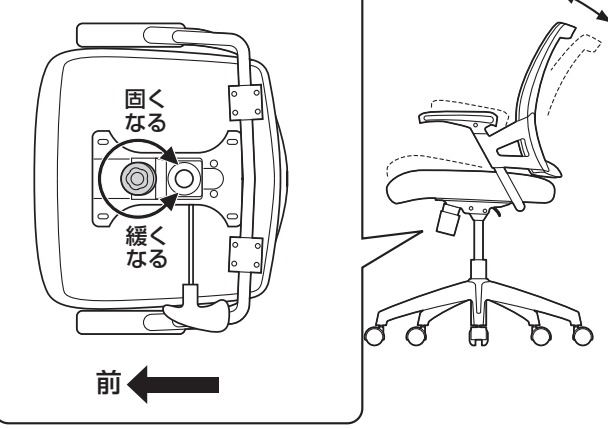
注意

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



チェアの品質表示

外形寸法：幅610×奥行610×高さ865~965mm
(座面高さ425~525mm)
構造部材：肘あて部/ポリプロピレン 座部/ウレタンフォーム
脚部・キャスター部/ナイロン
張り材：背もたれ部/ポリエステルメッシュ 座部/布張り
クッション材：ウレタンフォーム

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面・肘あて部の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。

※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。